

令和7年度伊勢茶ブランドリノベーション事業

(事業実施計画書・事業実績報告書)

1. 事業実施主体

(1) 事業実施主体名 ○○ 一郎

(2) 代表者名 ○○ 一郎

(3) 所属するプログラムの代表事業者 まる○○製茶株式会社

(4) 経営面積(a) 220 a

(5) 住所又は所在地、連絡先

〒△△△-△△△

三重県△△市○○町××56番地

TEL: 0123-×××-789 FAX: 0124-×××-890

E-mail: ×××@×××.××

(6) 産地構造改革プロジェクトの取組(該当のものに○)

実績あり 予定あり 実績・予定なし

(7) 有機栽培の取組(該当のものに○)

実績あり 予定あり 実績・予定なし

有機JAS認証事業者である場合は、「実績あり」とする

(8) 直近3年以内および3年後までの改植の取組(該当のものに○)

実績あり 予定あり 実績・予定なし

2. 取組概要

(伊勢茶ブランド活力強化プログラムの目標達成にどのように貢献するかを記入)

蒸機の制御盤の機能を向上することで、……が可能となり、水色が……のように向上するため、……な茶葉の生産につながる。

3. 取組内容 (導入する資材及び機械の概要)

導入予定時期を記載

取組番号	導入設備及び資材の名称	導入量	導入時期	取組面積 (a)
1	寒冷紗	30本 (50m×2m)	R7.11	30
2	蒸機KM-100	1つ	R8.2	220
3		取組面積を記入 ※被覆資材については、導入した資材で被覆する面積 ※「製茶ラインの機能向上」については、事業実施主体の経営面積のうち、対象製茶ラインをもって加工される茶葉の生産面積の累積とする		
4				
5				

見積額を記載

4. 事業費 (単位:円)

取組番号	事業費 (税抜) 円	県補助金 ※対象経費の1/2以内
1	600,000	計画時は、記載不要
2	4,000,000	
3		
4		
5		
合計	4,600,000	

5. 取組効果

事業実施後、3年間は取組効果の報告が必要。報告する取組効果を (A) (B) (C) の中から1つ選択する。

(A) 生産する茶葉の全窒素向上

取組番号	評価指標	「2. 取組概要」と整合性がとれる項目を選択すること。			3年目
	全窒素 (%)				
	繊維 (%)				

(B) 外観、内質の向上 《①外観 ②水色 ③滋味 ④香気》

取組番号	評価指標	取組前	1年目	2年目	3年目
1, 2	①~④を選択 ②				

※官能審査は茶業研究課に依頼し実施する

(C) 生産効率の向上 《1日あたりの最大荒茶製造量 (kg)》

取組番号	評価指標	取組前	1年目	2年目	3年目
	1日あたり最大荒茶製造量 (kg)				